ロスプリベンションへの道4 協働防犯（18）

内なる文民統制・思いよ届け白百合の花

NPO法人 全国万引犯罪防止機構

客観性の哲学（注1）

私が思い違いをしているかもしれない、いや、そうではないかもしれないという考えを、客観性の哲学という。客観性とは思い違いをする有無を示す指標である。客観性とはどこかとんでもないところから眺めて、完全に中立的な立場から現実を把握することではない。実態は正反対で、客観性の本質の中に主観性が組み込まれている。主観性とは我々が思い違いをする仕方のことで、我々がいつ、どのように思い違いをするかということは、私についての何かを示しており、その何かを知覚や思考から判断するのが客観性である。

そもそも主観性がなければ、客観性は存在しない。知覚は客観的ではないと信じ込んでいる人がいるが、そのような人は、客観性の概念をどこか手のとどかない遠くに存在している概念だと思っているのだろう。むしろ、客観性とは感覚のような対象をうまく捉えたり捉えそこなったりする能力のあるところに存在する。我々の知覚は疑いなく主観的であり、そのプロセスに客観性が組み込まれている。今回の連載では、我々の日々の活動のなかに、内なる文民統制と民主的プロセスが組み込まれているか、内なる客観性の観点で綴るとする。

結びに付記させていただいたが、その内なる客観性の存在に気づかせてくれたまだ見ぬ能登の白百合の花と梁山泊のような好漢たちに感謝しながら。

文民統制と民主主義を考える身近な例

一部分から批判めいたことを主観的に主張することは客観的な結果につながらないが、思うところがあって今回はその禁をやぶり、あえて文民統制と民主主義を考える身近な例に言及したい。

警察学校に入校する期間は採用区分によって異なる。高卒区分は10カ月、大卒区分は6カ月の期間を警察学校で過ごすことになる。数年前に高卒区分の警察学校の入校式だ立ち会った際に、警察本部長の祝辞で「これから皆さんは6カ月の期間を警察学校で学ぶことに…。県民より期待され模範となる…」と挨拶した。それに続く県知事から任命された公安委員長が「先ほどの挨拶で6カ月の期間とありましたが、10カ月かと思います。」と訂正された上で、「まずは温かな人になって欲しい。そのために笑顔の挨拶を…」という思いやりのある話をされ皆をなごませた。情けない話だが本来このような訂正は司会などの幹部が行うべきところであるが、それが出来ていなかった。そのため文民統制の責任者として、公安委員長が訂正されたのだ。さらに残念なのは、その後、本部長から訂正に関してのお詫びや公安委員長への感謝の弁がなかったことだ。硬直化したキャリア制度の悪しき一面をみたような気がした。

関連して、この警察本部では犯罪抑止の施策として防犯カメラの設置を新たな知事にお願いしたが、予算が足りないので一部はダミーカメラにしたらどうかと知事から返答されたそうだ。この県は人口あたりの犯罪率がつねにワーストの上位で、もっとも住みたくない県の一つだと言われている。この知事の現在の関心は観光の目玉にしたいパンダの誘致である。そのためには莫大な資金が必要であるが、防犯対策を犠牲にしてまで住民がそれを望んでいるようには到底思えない。過去の成功体験に固執し、今の実情を見ようとしない人間がいるが、今回もその範疇だと思う。

ダミーカメラでは事故が起こっても解決にはつながらない。住民の安全安心のための防犯カメラがダミーでも良い。それよりもパンダの誘致を望んでいる首長がいる。その首長の再選を決めるのは、選挙である。専制主義ではこのような首長を排除できない。民主主義があるからこそ、どちらを優先すべきかを決めることができる。住民主体の民主主義があるからこそ、それが実現できる。

ちなみにJEASではダミー製品の利用を厳しく戒めている。ユーザーだけでなく行政にも呼び掛けている。その案内の一部を貼付する。全体はQRコードから確認してほしい。

さて、2022年に警察が認知した刑法犯は前年比3万3285件（5.9%）増の60万1389件で、20年ぶりに増加に転じております。殺人など6種類の重要犯罪のうち強盗は前年比10件増の1148件で、各地で相次ぐ広域強盗事件の一部が含まれており、その被害は店舗事務室でも起こっております。
さらには万引などの店舗犯罪も増加しており、ロス金額やロス率が増加に転じつつあります。
しかしながら、長らく続いた犯罪率の低下に加えて、円安による急激な物価上昇と消費の停滞による経済環境の厳しさが増す中、

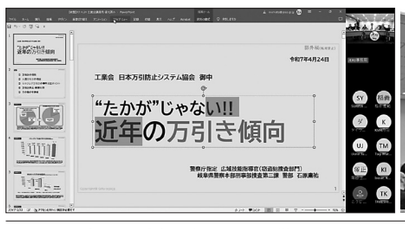
- 経費節減のために、防犯カメラやEAS（万引防止機）などはダミーでも良いのではないか
- カメラを入れなくても「防犯カメラピント調整中」などの見せかけ表示でも良いのではないか
- 保安員をやめて警備員巡回中の店内放送だけにしたらどうだろうか

などのお声を聞くようになっております。

しかし、それを実施するのは、賢明な策ではありません。何故なら、各種犯罪が増加に転じているなかで、万が一事件があっても、ダミー製品では確認・対処ができないからです。
それは企業の社会的責任を果たす上で、好ましくありません。
お客様・従業員・商品を安全に守ってこそ、地域に信頼される店舗と言えるのではないしょうか。

4月24日の第1回JEAS理事会・勉強会の様子

4月24日（木）令和7年度第1回理事会を開催した。6月6日の通常総会の人事案件と内容や新しい店頭告知POPの承認を行った。拡大15分勉強会は警察庁指定広域技能指導官（窃盗犯捜査部門）兼岐阜県警察本部刑事部捜査第三課警部の石原庸祐様より最新の対策情報（重要万引き事案とセルフレジ不正事案）をご提供いただいた。一件あたりの被害額が外国人による犯行は日本人のそれより8倍であること、背景にある国際的ネットワークとSNS利用の実態、指紋の活用などのかなり突っ込んだ捜査手法のため、配布資料は無しとした。議事としては、大阪・関西万博での会員企業各社の貢献状況、6月6日に開催する令和7年度第24期の通常総会議案書や大プレゼン大会などの準備の状況を確認した。合計32名（会場22名　オンライン10名）が参加、17時15分からの意見交換会には13名が参加した。万防機構の樋口理事長も石原警部も勉強会だけでなく意見交換会にも臨席され、JEASメンバーと積極的な意見を交換されていた。



（右）勉強会の様子
（左）新たな店頭告知表示例

5月13日のJEAS主催の個情法改正に向けてのウェビナー

3月27日（木）に、個人情報保護委員会事務局主催の「認定個人情報保護団体及び対象事業者向け合同連絡会」が開催され、制度的な論点の再整理や想定される具体的な規律の方向性に関する考え方についての示唆があった。その説明を拝察し、今後、物理的、ソフト的などの安全管理措置が担保されれば、個人情報の利活用が特定分野、特に防犯分野において加速する可能性があるのではないかと感じた。

JEASは防犯カメラや顔認証システムなどのセキュリティ機器の工業会及び認定個人情報保護団体である。その責務をもって個人情報保護法を見直しし、地域社会や産業発展にとって有益なものにしたいと考える。そのためには改正前に、必要な意見を提言することが求められている。今回のウェビナーでは先輩認定団体であるJIPDECの坂下常務理事にアドバイスを戴きながら、現在の見直しの方向性、さらには当工業会の考える新たな情報共有等のスキームを関係各位と共有し、多くのご意見をお聴きしたいと思う。

なお、読者にこの新聞が届くころにはセミナーは終了後している。ライブ視聴できなかった希望者にアーカイブ動画を共有させていただく予定となっている。その視聴をされたい方はJEASニュースページ（https://www.jeas.gr.jp/news.html）の2025.5.14に「アーカイブ動画の視聴方法」をご確認いただきたい。

認定個人情報保護団体の担当として、法を順守することは第一義と考えるが、それよりも上位に位置するのが、法の改正を継続してきた。結果として、JEASはEAS機器や防犯カメラなどのセキュリティ機器の工業会として経済産業省より指定を受けて今に至っている。このようにJEASは防犯面の文民統制を担う機関でもある。国が方針を示せない時は、まず我々が素案やガイドライン案を冊子という形式で発表してきた。

まことに恥ずかしい話だが、防犯の前線で、酔って砂上に伏そうとする時、「JEASは防犯の梁山泊（注2）でありたい。」と口走ってしまうのが愉快な仲間達の悪い癖である。

https://www.ppc.go.jp/files/pdf/20220414_shiryou-4.pdf

顔識別／行動分析機能付き防犯カメラ作動中

犯罪予防や安全確保のために
推奨
顔識別機能付き
カメラシステム
工業会 JEAS
認定個人情報保護団体
https://www.jeas.gr.jp

ご案内

○○○○株式会社（以下 当社といいます）と当社のグループ会社の各店舗ではお客様の安全安心ならびに不法行為の防止のため、万引き・窃盗、電子計算機使用詐欺、盗撮、器物損壊、暴行、傷害、公然わいせつ等の犯罪行為や、迷惑行為の防止と画像分析の機能の精度向上を利用目的として、店舗内出入り口等に顔識別機能付き防犯カメラの設置や、カメラの画像から万引きなどの振る舞いを検知し、防犯に役立てる仕組みを導入しております。

また、顔識別機能等により対象者の来店が確認された場合には当社の規定に基づく対応をいたします。

本件に関するお問い合わせが御座いましたら、以下までお願い致します。
○○○○株式会社
お客様相談窓口 TEL：00-0000-0000
http://www.XXXXX@qqq.co.jp

6月6日のJEAS大プレゼン大会のプレゼンターが決まる

令和7年度JEAS通常総会は6月6日（金）の13：30より主婦会館プラザエフにて開催される。15：00からの第2部は会員各社の15分プレゼン提案の大会、『JEAS AWARD 2025』を実施する。4月28日（月）にそのプレゼンターの社名と氏名が公表された。「真の防犯マーケティング」などの5つの審査項目で金賞、銀賞、ユーモア賞が選ばれる。審査員は大手チェーンのご担当、ものつくり大学教養教育センターの井坂康志教授などにお願いした。どれも関心の高いテーマである。

公平性と透明性を確保するため、会場参加者の拍手も審査の加点にしたいと思う。まるでスイスの直接選挙制度のように、会場参加者には審査に我がことのように参画してもらいたい。

なお、第1部通常総会と第2部大プレゼン大会の参加は無料で、しかもオンラインでも参加できる。第3部の意見交換会はビュッフェスタイルで、参加費は4千円（注3）となっている。誰もが安全・安心を享受できる社会を目指して、誰も置き去りにしないという防犯民主主義の理念を軸に、総会イベントを皆で楽しく学べる場にしたいと思っている。その中で、新たにJEAS会員となるソフトバンク（株）AI映像サービス部のエキスパート陣を紹介したい。

多くの小売チェーンの幹部の皆様に加え、経産省、総務省、国交省、個人委、警察出身の元法務大臣などの幅広い皆様が臨席される。防犯民主主義実現の旗の下、JEAS会員以外を含め、本紙読者の皆様の申し込みをお待ちしている。

※プレゼンター一覧と通常総会案内は工業会JEASのニュースページの「2025・4・25」にあります。

大プレゼン大会の概要

申込みサイト

5月1日の万防機構の二つの会議

連休のさなかではあったが、皆が集まれる日が5月1日以外になかったので、重要な二つの会議をこの日に万防機構は開催した。

一つ目の会議として第16回渋谷プロジェクト運用検証委員会が午前中に行われた。板倉陽一郎弁護士、坂下哲也様、篠原治美様、星周一郎教授、万防機構の竹花豊会長、対象店舗の方々やオブザーバーと事務局など21名が参加して開催された。会議の中では、顔識別機能付きカメラシステムが再犯防止に貢献していること、情報共有の地域の拡大、フリマーアプリを使い盗品が継続的に売りさばかれている事案の実態と今後の対処が話し合われた。事務局からは「JEASの5月13日個人情報保護に関するセミナーの案内」と「ビジネス法務6月」に掲載された弊方の記事「パーソナルデータ　新しい利活用の法律問題第5回　顔識別機能付きカメラシステム利用のデータガバナンス」が報告された。この号では、他に「デジタルマーケティングの法律相談第2回個人情報保護法①　個人情報該当性と利用目的規制など」など興味深い内容があり、今後もビジネス法務は継続的に購入したいと思う。

二つ目の会議として第二回全国中学校向け「壁新聞」及び「保護者用リーフレット」の編集委員会が開催された。土井隆義教授、加藤和裕委員長、光眞章委員長や佐々木久美子チーフデザイナーなど9名が参加した。現状の青少年の万引の背景には学校や地域社会や家族からの孤立があり、放置しているとオーバードーズ、さらには闇バイトなどの匿名・流動型犯罪グループ（トクリュウ）の犯罪の温床になっていくことへの議論がなされた。不登校者の数や青少年の自殺数が増加の一途を辿っていることを踏まえ、フリースクールへの配布の検討、中学生のデザインを従来の制服から私服に変更することが決定された。土井教授からは子供達の環境の変化する状況に合わせ内容の見直しが必要とのご示唆があり、事務局からはマンネリにならないよう関連する方々との対話に力点を置きたい旨の決意が述べられた。

両委員会とも、文民統制と民主的プロセスを重視し、つねに現場からの意見をもとに内容が精査されている。

内なる文民統制・思いよ届け白百合の花

あってはならない話だが、解決策に困窮すると、誰かが「国会議員の○○先生に頼めば良いのではないか」、さらに行き詰まると「力のある組長にでも頼みたくなる」などと口走るシーンに今でも遭遇することがある。当たり前のことだが暴力団などの反社会勢力の付き合いがあってはならないし、冗談でも口にしてはならない。国会議員とは多少の交流はあるが、何かの便宜を依頼したことは無い。但し、現状の問題点を知っていただきたいので、資料提供をしたり、情報提供の一環で総会にお招きしたりする。

我々の活動に官尊民卑の視点は存在しない。大切なことは民意をもって政治を動かすべきだと考える。そのために工業会として必要なことは関係者の意見をまとめ、書面にして監督官庁と交渉している。

NPO法人としては、グレーゾーンの案件で対象となる企業から資金提供を受けてはいけないし、ダークサイドから資金や人的支援を受けてはいけない。そのようなものの陰に頼ることなく、僅かかもしれないが多くの一般市民からの浄財で運営すべきである。過去、重要な方向性に関しては民間側の意見をまとめ、何回も建議提言をやってきた。それがNPO法人の矜持である。

その心の水底に流れているのは、現場視点であるJEASはロス対策やセキュリティ設備の現場を支えるのが使命であり、万防機構は小売業や地域の視点で万引を発端とする犯罪を抑止する社会的使命である。

現在、防犯だけでなく防災や災害復興においてもライブカメラやサーマルカメラや顔認証などのセキュリティ機器の活用が進んでいる。防犯の出来ていない施設は防災も不備が目立つことが多い。防犯と防災は表裏一体であり、一方の改善が進めば相乗効果でもう一方の改善が進む。米国の小売業のロス・プリベンションには、防災面の活動が多く含まれるのは包括的対策の重要性を認識している証だと思う。

JEASの個人情報保護指針や総会の議案書などの公式書類には「～防犯民主主義実現に向けて～」のテーゼが刻まれているが、ロス・プリベンションの重要性の高まりのなか、今後はどこかのタイミングで皆の了解を得て「～防犯＊防災 民主主義実現に向けて～」（仮称）に変更したいと考えている。

結びになるが、能登半島地震及び水害の復興支援「被災地に花を咲かそう花植え隊」に、JEASとしても協力する方向で進めている。能登のさら地に戻された人家の跡に白百合などの花々を植えることは、さりげなく復興を後押しするかもしれない価値あることだと思う。古来より能登は中国大陸との貿易の拠点があり、交流・交易がなされてきた。その地に咲く花と能登の自然を国内だけでなく海外へもライブ配信したいという申し入れは、アジア地域の平和と安定にも寄与することだと考える。有り難いことにダーファテクノロジージャパン合同会社よりライブカメラ設営の申し出をいただいた。わたしにとって同社の李斌社長は防犯梁山泊の同志だ。その思いの輪を広げるために6月6日のJEASの通常総会では、花植え隊への心ある寄付を募ろうと思う。

願わくは、白百合とマリンブルーの日本海が映るライブ映像を皆で眺めることで、平和と安全の有難みを感じ、そのために必須となる文民統制と民主的プロセスの意義を再確認したい。

（参考例）

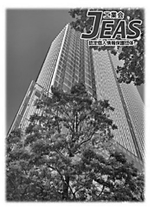
（注1）詳しくは「考えるという感覚／思考の意味」68頁参照　著：マルクス・ガブリエル　講談社選書メチエを参照ください。

（注2）小説『水滸伝』に登場する108人の好漢が集う砦のこと。日本では「梁山泊」は有志の砦を意味する代名詞のように使われる。たとえば明治初期、大隈重信の私邸には井上馨、伊藤博文ら若手官僚が集まり政談にふけったため、「築地梁山泊」と呼ばれる。手塚治虫、藤子不二雄（藤子・F・不二雄、藤子不二雄A）、赤塚不二夫、石ノ森章太郎らが住んでいたトキワ荘が「マンガ梁山泊」と呼ばれ、平塚らいてう、などが著名な青鞜も「女梁山泊」と呼ばれていた。

（注3）日頃よりお世話になっている行政・小売業ユーザー様及び報道機関の皆様は第3部意見交換会がご招待となります。

The Japan Industrial Association of Electronic Article Surveillance Machines

個人情報保護法「いわゆる3年ごと見直しに向けての業界・自社の取組み」ウェビナー
～改正前にわたしどもの意見を提言し、より良い法にしよう



セミナーの概要：
日時：2025年5月13日(火) 15:00～16:30
参加方法：ウェビナー「Teams」及び 会場「高千穂交易(株)セミナールーム
登壇：JIPDEC(一般財団法人日本情報経済社会推進協会)　常務理事　坂下　哲也
工業会JEAS　会長・個人情報管理室長　稲本　義範
工業会JEAS　理事・政策研究委員長　摺田　祐司
アドバイザー：　丸の内総合法律事務所　木村　一輝弁護士

進行：
指針やガバナンスの無い安易な取り組みに対する警鐘　稲本
認定個人情報保護団体及び対象事業者向け合同連絡会の概要　稲本
社会に「それまで無かったもの」を実装しようとするときに必要なこと　坂下
プライバシー保護技術のニーズ及び相談例、取り組むべき課題　坂下
事例研究・NEC社のAI及びDX事例とガバナンス体制　摺田
増加する万引犯罪に対する共同運営体構想と監査体制の構築イメージ　摺田
質疑応答を含むディスカッション　坂下、稲本、摺田
敬称略

～ 防犯民主主義実現に向けて ～
EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会
認定個人情報保護団体
工業会 日本万引防止システム協会

第１部、第２部オンライン参加ができます

西暦2025年度
工業会日本万引防止システム協会令和７年度通常総会開催概要
・・・防犯民主主義実現の旗の下　協働防犯への研鑽・・・

1　日時　2025年６月６日（金）13:30～（受付開始 13:10）
1　主婦会館プラザエフ　第１･２部　9Fスズラン　第３部　8Fスイセン
1　第1部　総会　（13:30～14:35）　＜９階スズラン＞
　1．開会
　2．会長挨拶
　3．議長選出
　4．議案
　　第1号議案：令和６年度事業報告、収支決算の件
　　第２号議案：令和７年度職業専門委員の選出
　　第３号議案：令和７年度組織・人事の件
　　第４号議案：令和７年度事業計画、収支予算の件
　　新役員挨拶（理事・顧問）、新会員紹介、新任委員挨拶、記念写真
　5．閉会　（14:10 頃を予定）
　6．感謝状贈呈
　　ウエルシア薬局株式会社　代表して同社　取締役副社長　石田　岳彦様へ贈呈
　　株式会社コスモス薬品　代表して同社　総務部　顧問　西澤　康雄様へ贈呈
　　日本電気株式会社　スマートリテール統括部
　　コンシューマーエクスペリエンスグループ　摺田　祐司様へ贈呈
　7．職業専門委員挨拶
　8．来賓挨拶
　　総務省　総合通信基盤局　電波部電波環境課　課長補佐　水井　健太様
　　休　憩　（14:35～14:50）
第2部　記念行事 大プレゼン大会　（14:50～16:45）＜９階スズラン＞
　1．JEAS AWARD 2025
　　毎年行っていた第２部の記念講演をとり止めて、会員各社の 15 分プレゼン提案の大会を開催します。審査基準は①小売業でのニーズ　②内容・発表の分かり易さ　③内容・話が楽しい　④ガバナンスや SDGs の観点　⑤真の防犯マーケティング度です。審査員は大手チーンのご担当、ものつくり大学教養教育センターの井坂康志教授などにお願いしました。
　2. 来賓挨拶　個人情報保護委員会事務局　企画官　長沼　裕史様
　　休　憩　（16:45～17:00）
第3部　意見交換会（懇親）　（17:00～18:30）＜8Fスイセン＞
　来賓挨拶　経済産業省　商務・情報政策局　情報産業課　課長補佐　龍　寛之様
　国土交通省鉄道局　総務課危機管理室危機管理室　室長　坪原　和洋様
　乾杯　日本小売業協会　専務理事　湊元　良明様
※日頃より会員がお世話になっているご来賓や小売業の皆様は第3部がご招待となります。ご来賓には昨年もお越しいただいた元法務大臣で衆議院議員の葉梨 康弘様、株式会社日本リテイリングセンター 代表 渥美 六雄様などにお越しいただけるよう調整をしております。
【オンライン配信】防犯民主主義実現の一助として、今年も総会及び第 2 部については各地の皆様がご参加できるよう会場参加だけでなく、オンライン参加も可能となっております。

オンラインでも視聴ができます。

令和７年度 通常総会記念行事　大プレゼン大会 プレゼンターの紹介
～JEAS AWARD 2025～

毎年行っていた第２部の記念講演をとり止めて、会員各社の 15 分プレゼン提案の大会を開催します。審査基準は①小売業でのニーズ　②内容・発表の分かり易さ　③内容・話が楽しい ④ガバナンスや SDGs の観点　⑤真の防犯マーケティング度です。審査員は大手チーンのご担当、ものつくり大学教養教育センターの井坂康志教授などにお願いしました。会場参加者の拍手の大きさも参考にさせていただきます。

大プレゼン大会
金賞

エントリー企業とプレゼンター
1．日本電気株式会社　バイオメトリクス・ビジョン AI 統括部　田中　俊彦氏
　あなたの動き、お店はもっと解る！　～顔認証を活用した顧客行動分析～
2．日本 NCR コマース株式会社　流通システム営業本部 グローバル営業部　松永 陽生氏
　フルサービス型セルフレジにおける、使いやすさとロス対策の両立
　～本部・店舗・お客様、すべてに寄りそう AI カメラソリューション、満を持して日本へ
3．高千穂交易株式会社　マーケティング戦略推進部　チームマネージャー　佐久間 博之氏
　AI 映像解析技術を利用した「万引き行動検知システム Veesion のご紹介」
　―全ての万引き犯の脅威となる存在を目指して―
4．株式会社 GeoVision　企画商品部マネージャー　豊田 孝志氏
　AI 人数カウントカメラ紹介　AI 搭載防犯カメラ単体での人数カウント
5．セキュアリンク株式会社　代表取締役　藤本 典志氏
　身近な他人が見守る社会の創造 CareSense（ケアセンス）と WaveSense（ウェイブセンス）
6．タカヤ株式会社　RF 事業部 第二営業部　中山 真一氏
　お客様の安心と売上の安定を両立する万引き対策
　～ 防犯対策の最適解－店員様負荷が軽く投資対効果の高いシステムとは？ ～

控えのプレゼンター
7．ダイワ通信株式会社　東海・東北エリア長　山田 健太氏
　ロボットと協働する店舗運営の未来　～防犯性及び生産性向上の両立～
※当日は諸事情で発表テーマやプレゼンターが変更になる場合があります。

～防犯民主主義実現に向けて～
EAS 機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会
工業会 日本万引防止システム協会
認定個人情報保護団体

全国万引犯罪防止機構（通称：マンボウ）
万引撲滅のための戦略を本気で提言・実践する小売業界を中心に組織化されたNPO法人
文：事務局（稲本義範）